

一般社団法人 広島県発明協会

100年プロジェクト

## 第2回 ビジョン・事業委員会

日時：2022年7月26日（火）14：30～

場所：発明会館、及びWeb利用ハイブリッド形式

### 1. 当委員会の目的

発明協会の施設を使って、広島県内の児童・生徒・青少年（大学生等スタートアップ起業者）、中小企業を対象に知財啓蒙、知財支援による県内起業の活性化支援、若者の定着化等を目的にし、特に千田町にある諸施設（試験場、大学、図書館、産振構等）とのコラボレーション、公官庁との連携を伴った活動の提起をおこなう。

#### ※理想（目指したい姿）

お客様である児童・生徒・青少年・中小企業等が求める価値を提供し続けている状態。それによって、広島県内における発明協会の存在感・存在価値が高まり、お客様だけでなく行政からも頼りにされている状態。

### 2. お客様が発明協会に求める価値とは？

#### ① スタートアップ、中小企業

知財総合支援窓口による支援の充実？他には無いかな？

今の支援内容でご満足してもらえているのかの評価はしっかりしていないかと思っています。また、そもそもの認知度向上も必要ではないかと思っています。発明協会の存在すら知らず、相談しに来ることもない企業も多いのではないかと思っています

#### ② 児童・生徒・青少年（むしろ、親御さんや教育関係者が求めるものという視点で）

・ アイディアや工夫が知的財産で保護される、特許公報は技術情報の宝庫、という驚き、気づきを与えてくれること？

⇒ それがモノ作りや技術への興味のモチベーションアップに繋がる

・ 子供向けの知的財産啓蒙（興味をそそるような）？

今の発明くふう展のイベントは、モノ作りの体験に留まっており、知財啓蒙という視点はないかと思いますが、そこを年代に応じて何かできないか。難しい話ではなく興味を引くような形で。

また、他には無いかな検討を要します。

### 3. 方策案

#### ① 起業支援

県庁、産振機構、広銀、広大等既にスタートアップ支援はアドバルーンが各々上がり、公報支援や試験援助が制度としてある中で、同じルールは不適切（各協賛が得られない）と考えています。ただそれぞれの支援策には”知財支援”という切り口が表面上は見えてないと思い、検索機会、回避策、取得・維持アドバイス（ノウハウの取得含む）を各支援事業に織り込む活動案

#### ② 幅広い年代への知財に触れる、試す機会であると考えており、ある程度の階層別事業案を構想すべきではないかと思えます。

…階層別具体策は3D体験、シミュレーション体験（NVHや力学体験？）

#### ③ 現在の委員様にご負担を強いる事になりますが、ワーキンググループで並行的に進める事ができれば better と考えています。

#### ④ 必要条件として公官庁との連携で発明協会の立ち位置を織り込む事と考えています。

#### ⑤ 会員様への新しいサービスとして、新製品・新技術の広報をサポートできるかも想定内に入れるべきと考えています。（無論、特許製品が前提になろうかと思えます。）

これらの進め方を各委員様のご助力とご意見を賜りながら、TSS プロダクション様とディスポ桑原様、味能専務理事を始め事務局の方々の御助力を戴き、進捗を図ればと思います。又、当事業における投資と回収につきましては皆様の御了解を戴くべき事案であると考えています。

#### ※ 懸案事項

基町地区の再開発に関して県の構想、規模と時期が不明な点

状況により Web 環境の整備により、連携を可能に出来る事への精査が必要でこの点も TSS プロダクション様、ディスポ桑原様や有識者の方々にお聴きしたいところです。（発明会館自体が島になっては…）

以上